

定例記者会見発言録

日 時：令和5年7月25日（火）14時30分～
場 所：伊達市役所東棟4階 401・402 会議室
出 席：市長、副市長、総務部長、未来政策部長、財務部長、産業部長、市民生活部長、市民課長、健康福祉部長、健康対策担当参事、こども部長、学校教育課長

報道機関：福島民報社、福島民友新聞社

発表項目：市長から下記の内容について、別紙資料により説明

- 資料1 イオスタイル仙台卸町における伊達市産「桃」のトップセールスについて
- 資料2 おくやみハンドブックを発行
- 資料3 被爆体験伝承講話講演会及び広島・長崎小さな原爆展の開催について
- 資料4 梁川中学校と北海道松前中学校の生徒会交流事業について
- 資料5 伊達市内教育・保育施設合同就職相談会を開催
- 資料6 伊達市ではごみの減量・リサイクルに取り組んでいます
- 資料7 新型コロナワクチンの秋開始接種について
- 資料8 市内で開催される夏のイベント

《質疑応答》-----

おくやみハンドブックを発行

■おくやみハンドブックを発行する狙い

記 者 おくやみハンドブックについて、このような冊子を発行している自治体は他にありますか。また、冊子とウェブでも見られるという事ですが、この事業を行うきっかけ、意図を教えてください。

市 長 おくやみハンドブックについては、県内5つの市で冊子が作成されていますので、伊達市は6番目になります。

事業についてですが、ご家族が亡くなれますと様々な手続きが必要になります。伊達市では、ご遺族の負担を少なくするため、令和4年8月より「おくやみコーナー」を市役所内に設置しています。これによって、今までいろいろな所で手続きをしなければならなかったものが、一か所で手続きを完了することができるようになりました。

今回、その手続きの内容と、市役所外での手続き、相続についての手続きなどを冊子にまとめ配布する事で、さらに遺族の負担軽減に繋がればと思っています。

梁川中学校と北海道松前中学校の生徒会交流事業について

■北海道松前町との姉妹都市提携及び両校生徒会の交流事業について

記者 北海道松前町との姉妹都市提携は、2011 年 10 月 1 日から間違いありませんか。

また、コラボパンのような事業は今まであったのか、今後梁川中学校の生徒が松前町に行った際に行う事業の計画などあれば教えてください。

市長 これまで、梁川中学校と松前中学校との交流は 8 回行われ、対面では 6 回、それぞれ 3 回ずつ訪問をしています。

今回の事業は、生徒同士が交流を深める中で、形として何かを作り、それを提供できないかとの発想の中で、梁川町のパンを製造されているお店に協力をいただき、お互いのシンボルの花である桜と桃をイメージしたパンを作ってみようという事でスタートしました。

未来政策部長 2011 年の姉妹都市提携についてですが、伊達市になってから締結したのが 2011 年でありまして、旧梁川町時代では、昭和 59 年に既に締結をしており、来年で 40 周年を迎えます。

学校教育課長 コラボパンについては、松前中と梁川中の生徒会同士オンラインで交流する中で、交流を市民に広げようとパンの考案をしてきました。

梁川町のパン屋さんに協力をいただき、お互いに桃と桜をモチーフにした「もちもちぎりパン」を作りました。

来年度の予定については、まだ決まっておりません。

本日の会見以外の質問

■聖光学院高等学校 第 105 回全国高等学校野球選手権福島大会優勝について

記者 今ほど、聖光学院が高校野球福島県大会で優勝しましたが、コメントをお願いします。

市長 今回の決勝戦は先制をされ、この記者会見の直前も延長タイブレークで 3 点を奪われたところを観ていました。苦しい展開ではありましたが、私も含め、伊達市の皆さんは逆転してくれると信じていました。

やはり諦めないという気持ちが、今回の勝利を導いたと思っていますし、これから福島県代表として聖光学院が掲げる「不動心」をもって、甲子園でも聖光旋風を巻き起こしていただきたいと思っています。

本当におめでとうございます。